

News Release

平成 21 年 8 月 9 日

北九州 PCB 廃棄物処理施設第 2 期施設プラズマ分解炉室内での火災について

平成 21 年 8 月 8 日 13 時 24 分頃、当社北九州 PCB 廃棄物処理施設第 2 期施設 1 階にあるプラズマ分解炉室内のプラズマ熔融分解炉ドラム缶投入前室(処理前)の排気処理装置である活性炭吸着塔から火災発生がありました。直ちに関連設備を停止し自衛消防により消火しました。

これによる PCB 等の施設外への漏洩や作業員への影響はありません。

1. 北九州 PCB 廃棄物処理施設第 2 期施設のプラズマ熔融分解炉は、本年 7 月 17 日から操業を開始したところであり、これまで事業所内で発生した廃棄物を処理しておりました。

2. 火災の概要については次のとおりです。

- (1) 発生時間 13 時 24 分頃 火災報知器発報 直ちに関連設備を停止
13 時 28 分 自衛消防により初期消火開始後、消防に通報
- (2) 火災内容 活性炭吸着塔(1650 mm×1260 mm×高さ 1300 mmの鉄製の箱)の内部で火災が発生し外部の鉄板の表面塗装が焦げたものと推定されます。
- (3) 鎮火確認 14 時 05 分 消防が確認
- (4) 施設外への影響 施設外へ PCB 等の漏洩はありません。
(オンラインモニタリングにより確認)
- (5) 被害状況 作業員の被害はありません。また火災箇所以外への延焼はありません。
- (6) 出火原因 現在調査中です。
- (7) 原因究明と再発防止措置
原因を究明し、適切な再発防止措置を講じます。これらの点につきまして、行政からの確認をいただき、その上で設備を再開することといたします。

(別添)

- ・ プラズマ熔融分解設備概念図
- ・ 現場写真

<連絡先>

日本環境安全事業株式会社北九州事業所

所長 千葉 高生 (TEL 093-752-1113)

総務課長 田野 洋 (同上)

プラズマ溶融分解設備概念図



